

第33回民族藝術学会大会プログラム

4月21日 (金)	13:00～19:00		
	13:00～17:00	見学	大塚国際美術館
	18:00～19:00	理事会・評議員会	ルネサンスリゾートナルト会議室
4月22日 (土)	9:30～	受付開始	鳴門教育大学芸術棟演奏室
		開会挨拶	大会実行委員長
	10:00～11:30	一般発表	
	10:00～10:30	「海陽町立博物館蔵《無銘 のこぎり海部刀》の研究」	別府優香(芸術学)
	10:30～11:00	「民俗芸能の伝承を支えるもの～黒森神楽を事例として～」	中村光江(宗教人類学)
	11:00～11:30	「ミャオ族民族衣装の商品化をめぐる日中間の相互作用-コンタクト・ゾーンの視点から-」	佐藤若葉(文化人類学)
	11:30～12:00	テーマ関連発表	
		「チェコ民族主義の音楽と聖地 —『リブシェ神話』と『フス教徒運動』の視座から—」	内藤久子(音楽学)
	12:00～13:00	休憩 (60分)	
	13:00～15:45	シンポジウム I 「民族藝術と聖地」	
	13:00～13:10	趣旨説明	
	13:10～13:40	基調講演「芸術がいかに聖地を創り出すのか」	島本淳(美術史)
	13:40～13:50	休憩	
	13:50～14:15	報告1 「洞窟壁画と『聖地』」	五十嵐ジャンヌ(先史学)
	14:15～14:40	報告2 「『聖地』という視点からみた近代芸術におけるアルバート・C.バーンズのアメリカ性」	木水千里(美術)
	14:40～15:05	報告3 「御神火燃ゆる自殺の『聖地』——1930年代の三原山と音楽」	斎藤桂(音楽学)
	15:05～15:15	休憩	
15:15～15:45	質疑応答		
15:45～16:00	休憩 (15分)		
16:00～16:30	総会		
16:30～16:40	第14回木村重信賞民族藝術学会賞授賞式		
16:40～17:00	休憩 (20分)		
17:00～18:00	特別公演 人形浄瑠璃	徳島県立城北高等学校民芸部	
19:00～21:00	懇親会	ルネサンスリゾートナルト宴会場	
4月23日 (日)	9:30～	受付開始	鳴門教育大学芸術棟演奏室
	10:00～11:30	一般発表	
	10:00～10:30	「もの派とミニマル・アートの比較考察——関根伸夫《位相—大地》(1968年)を手掛かりに」	秋丸知貴(美学美術史)
	10:30～11:00	「會津八一と刻字 ～金石文を中心に～」	喜島奈津代(書道)
	11:00～11:30	「大阪日本民芸館創設の貢献者——大原総一郎から弘世現——」	長井誠(民芸学)
	11:30～12:30	休憩 (60分)	
	12:30～14:55	シンポジウム II 「はじめにイメージありき:木村重信先生のご業績をたどる」	
	12:30～12:50	基調講演	神林恒道(芸術学)
	12:50～13:05	先史美術	小川勝(芸術学)
	13:05～13:20	民族芸術	吉田憲司(民族学)
	13:20～13:35	美術評論	福本茂樹(染色)
	13:35～13:50	現代美術	大久保恭子(美術史)
	13:50～14:05	美術館学	中塚宏行(美術史)
14:05～14:15	休憩		
14:15～14:55	質疑応答		
14:55～15:00	閉会の辞		